제434호　1910. 6. 19.

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

鯨屋伊右門翁の鯨談（五）

捕鯨志に曰く、米國の鯨鬚細工を業とする者は鯨鬚を五等に分つ、即ち(一)を北海と稱し北極鯨より獲得するものにて最も大なり、主として鞭及服裝具を造る(二)を西北と稱し米國西北沿岸の脊美鯨より獲得したるものにして最も重きもの也鞭及杖に造る(三)を南海と稱し南海の脊美鯨より獲得したるものにして短小なり鞭及服裝具に造る(四)をハムパックと稱し座頭鯨より獲得するものにして短く色黒し婦人の胸衣(コルセット)を造るに殊に適良とす(五)をフインバックと稱し鰮鯨等より獲得す短く質粗なり是亦コルセットに用ゆ、而して鯨鬚に白色若くは淡黄色の縦線を有するものあり此白色の部分は黒色よりも價大に貴し、製造者は鯨鬚に存する此異狀を以て鯨の疾病に基くものとなせりと

（二二）座頭鯨　は體長三十尺から四十五尺平均四十尺時には老鯨の五十尺から六十尺位のものもある背は暗黒色腹は淡灰白色で胸に幅の廣い畝皮(皺)が十四から三十位胸鰭は外の種類にない大きくて長いもので長一丈から一丈五尺幅二尺五寸位から三尺位もある、脊には肉瘤があつて、是が鰭で此形が丁度瞽者が琵琶を脊に負ふてるのに似て居ると云ふので名づけたもので、脊鰭を一名琵琶鰭とも云つてゐる英語ではハムバック、ウエール即駝背鯨と云ふ意味になつてゐる、潮吹穴は二つ噴水は低いけれど激しい時は高さ二十尺位に見へる事もある、呼吸は一回の事もあれば多い時は二十回位の事もあり、泳ぐ道筋は屈曲て定りない爲め、捕鯨者の方では直ぐに座頭鯨と見分けが附く、鬚は五百餘枚で長一尺から二尺位、幅が廣くて色は黒い、脂肪の厚は一尺位もある。

一體に座頭鯨は至つて温和な性質で、胸鰭は動かしても水を刎飛す方にはあまり使はぬ只尾鰭を盛んに使つてゐる此の鯨は普通網でも捕獲れる位で、銛では無論譯は無い、矢張り鬚が歯の代用をしているので、鰯とか鰹とか云ふものが食物である、食用として此鯨の肉は脊美に次で好味を持つてゐるから日本では大に賞美して、座頭と云へば肉の値段が何時も高い外國では食料に用いずに、只油を採つたり、骨と赤肉とは、器械で壓潰して、血と混せて動物肥料を製造してゐる。

（二三）長須鯨　は朝鮮海及日本沿海に一番多い種類で英語では普通ロルクワール又フイン、ウエール。ブリユウ、ウエール等の別名もある長四十尺から六十八尺位平均五十七尺位のもので胸から腹に掛けて、座頭鯨の畝皮よりは狭くて數の多い縦皺がある、其數は六十餘り、一番其中の畝皮は丁度臍の側迄來て、其形が長い竹簀の樣であるから長須と云つたものである、背色は灰色、腹の色は黄色で硫黄と同じ色をしてゐて又淡白色の長須もある。

（二四）白長須鯨　と云つて長六十尺から百尺平均七十尺位のもので鯨の内で尤も長大な鬚類である、此の鯨の鬚は長須の鬚の樣に白色の處がない、明治三十五年の夏に、薩州の捕鯨船がニユウジーランド近海で捕つたものは長二百四十三呎の白長須鯨で是は先づ世界第一の大鯨であつたと思ふ、長須鯨は日本では冬と春の間に北海から南海に下る事に爲つてゐる、牝は牡よりも長大な方で、沖合を遠く通行して海岸に近づく事が少く、海面に浮ぶ事も少い呼吸は鯨中で一番長くて深いから一度に高く四十尺も噴水を吐いて水底に沈む、加之に泳ぐ速力が一番迅速で性質も猛烈であるから捕獲が困難である此鯨は鰯と小鰕とが第一の好物で、白長須の鬚は黒色長須の鬚は黒と白と混つて居る處もあれば白が半分以上の處もあり、長くて二尺五寸位細工物には一番使口が廣い、胸鰭は鰯鯨に比べると割合に大きいが体の割合には小さい、脊鰭は尖つて至つて小さいレゾルバック即ち剃刀の脊と云ふ名が附いてゐる

靜躁昏明

京城居留民團民長古城管堂君は中々の策士である、氏が民長としての手腕は今日のところ先づ未知數である、否氏に同情を有てる人々は何時までも〻未知數のまゝにして置きたいかも知れぬが、氏は斯る中にも尙縱横の策を講じて倦まないと聞く、氏は兄梅溪君の築きたる地盤に據て其が得意の策を畫き或意味に於て京城の元老を連衡し離るべからざる關係を結ばしめた其楔は起業會社である而して氏は其專務取締となつた、即ち事實上の楔となつた、斯くて氏は民會に打つて出た、密かに議長たるべく運動して愈モノになるべく確定した時に何事ぞ氏は自ら抑遜して和田氏を薦めた、世人は氏が謙讓の德を稱した、次に氏は起業會社に於ける位置を和田氏に讓つた、幾も無くして熊谷前民長の辭職となつた、此の時氏が多策なると謙讓の美德を備へたることが氏の最有力なる味方となりて氏をして今日の位置を得しめたのである、氏は好ましき二つの椅子を割愛したる代りに最も好ましき一つの椅子を贏得たのである、頃者氏が余りに大分縣人を率くの故を以て非難の聲が高まつた、之れを耳にしたる京童子は、氏は多年大分縣より代議士として打つて出づる野心を抱いてゐる、去れば此地で同縣人の爲めに計ることは彼地で聲望を增す所以である、即ち例の「與へて取る」式だと云つてゐるのである。

●社告

統監更迭紀念號

病統監曾禰子爵遂に掛冠して寺內陸相之れに更り山縣前遞相新に副統監に親任せられ永く沈睡せし統監政治は玆に面目を一新し世上の景氣は將に活氣を帶びんとす、されば本社は兩統監更迭を紀念する爲め左の通り一大紀念號を發刊せんとす

▲紀念號發行日　來る六月廿五日
▲記事の內容　韓半島に關する名士の談論其他經濟、人情、風俗、美文、短篇等最も趣味と實益に富める記事を網羅す
▲頁數、發行部數　約數十頁となし發行部數も平素に數倍し廣く江湖に配附せんとす

右の次第なれば當日の廣告は普通廣告に比し數倍の價値あるを信ず尤も廣告締切り期日は六月二十日を限りとす

六月　京城新報社

木浦地方の農況

▲麥類　木浦地方に於ては五月初旬降雨ありて以來旱天打續きたるが爲成熟當時の大麥は旱害を被り恰も立枯病に罹りたるやの狀を呈したるもの少からず就中早熟の大麥に於て被害の大なるを認む晚熟種にありては去る四日降雨ありし爲め勢力を恢復したるが如し早熟種は平年に劣るも晚熟種の作柄は敢て不良ならざるが故に先づ平年作に對し平均一割落前後と見は大差なかる可し
▲豆類　同地方に於ては五月上旬迄に播種を終り目下草丈二三寸に伸長して三月の狀況良好にして病蟲を認めず
▲水稻　苗代中に於ては稻苗は比較的病蟲も少く發育概ね可良にして其丈三四寸に達せり植付は六月十日より二十日前後迄に終るを普通とするも用水の全部を降水に俟たざる可からざる當地方に於ては適當の降雨あるにあらざれば植付をなす能はず農民は一般に降雨を希望し居るの狀況なりと

木浦附近棉花槪況

播種以來打ち續ける乾天の爲め或は萎凋し或は發芽せざるものある等農民の杞憂一方ならざりしが去る四日降雨ありし以來其生育を恢復し未だ發芽を見ざりしものも降雨を得て一勢發芽するを得たり就中陸地棉に於ては本年度の種子良好なりし結果發芽の狀況頗る佳良にして草丈二寸前後に伸長し既に心葉を生ずるものあるを認む然れども比較的雨量少なかりし光州附近に於ては發芽生育共に稍劣れるも之れ亦不良なりと云ふべからず尙蟲害に至りては光州附近に於て蝸牛の發生を見しも觀察道郡衙及棉採種圃等協力の上農民を督勵し驅除に勉めたる結果今や其跡を絕つに至れりと

日本銘刀傳

第百四十二席　津田近江之守（四六）　邑井一講演

是れは大層眠くなつたぞ、モウ三日も山中に這入つて居りまするから、度胸が据つた六兵衛爺、片側へ弓矢を置いて岩の間へ寄かゝり、夜露に打たれてはならぬまいとソコは年寄だけあつて若者とは違ひ、萬事心得て居りまするから、木の枝の垂れて居る其の下へ座を占めましたが、勞れがあるから宜い心持にトロ〻〻と、まどろむまだ一睡入も致しませんうちに、何となく身體が急に暖かくなつて參りましたから、如何なることかと、フト向ふを見ると、ゴウッと云ふ山風が吹いて來る樣子、ハテナと向も瞳を定めて見てあれば、何やら地響が致して、次第に此方へ參りまする樣子、見ると總体眞白の毛で顏は赤く耳元まで裂け、銀鐶を研澄したと思ふやうな牙を現はして、口を開いて火炎のやうな舌を吐出し、五間ばかり向ふから、今や六兵衛爺を目掛けて飛掛からうとする、此の時早く彼の時遲く、傍はらにあつたる、白木の弓に、ガッキリ番へた一矢、狙ひも定めず切つて放てば、其の矢は怪物の背中を掠つて彼方へ落ちてしまひました、六兵衛爺は尙も二の矢を番つて射らんとする、折しも一陣の怪風吹き來つて六兵衛の眼口に砂塵が這入つたから、ダヂ〻〻と後へ退がる、怪物は此時六兵衛に飛掛らうとするさ、アラ不思議や人の一心、石に立つ矢の立つ例もあるが六兵衛の差して居りまする助直の鍛ねたる一刀、鞘よりパッと拔出でて怪物の飛掛つて來る脇腹へグサと突刺つた、是れ助直の一心籠めて鍛ねたる刀でございますから、魂が這入つて居ると見へる、流石の荒き怪物も急所を突かれましたから堪らない、苦しき聲を發して地響打つて其處へ倒れました六兵衛は怪物の勢ひに驚いて氣絶をしてしまひました、この刀の威德の次第が傳はり領主遠山左衛門尉時議殿に聞へ殊の外助直の腕前を御稱賛に相成り大に面目を施しました、サテ助直年八十一にして命を終り目出度大往生を遂げました、弟子の助信を我が娘の養子として改めて津田攝津守助信と名乘らせましたが不幸にして此助信は早世をしましたので遂に名人とまで稱はるゝやうにならなかつたのは殘念でございます、先づ當講談も是れにて結局と致します長々御覽を願ひました誠に御退屈でございます（大尾）



◎新刊紹介

▲實業の世界（七卷十二號）目賀田種太郎氏の「我實業界に於ける官僚政治の大弊害」岡實氏の「大和民族の最好發展地なる南米の新事情及移民法」等讀むべき記事多し（六月十五日東京芝三島町同社發行十二錢）
▲東京經濟雜誌　六月十一日發行「新關稅に對する英人の批難に就て」「同上非難に對する外國人の非難」「同上非難に對する辨護說を讀む」等在韓人も讀むで宜しく石川安次郎氏の「滿韓に於ける列國の競爭」は面白し（京橋區彌左衛門七經濟雜誌社十三錢）
▲日韓實業界（六月號）出づ（東京々橋木挽町九ノ一三同社發行十六錢）

東京電報

▲官制改正可決　本日臨時樞密院會議を開き山縣議長以下出席拓殖局新設及統監府に關する左の諸件に就き御諮詢に應へ原案の通り可決したり(十七日)
一、拓殖局官制の件
一、同局官吏任用令及其の他の附帶規則
一、統監府官制改正の件
一、統監府官吏特別任用令
一、其他重要案件

▲官制改正内容　樞密院を通過したる統監府官制改正要旨は警務機關の統一に關するものなり(同上)

▲公債現金支拂　整理公債現金支拂高は四千七百二十万圓に上り同乘替高は三千二百四十萬圓にて合計七千九百六十一萬圓に達せり(同上)

▲日露協約内容　近々發表せられんとする日露協約は露都に於て圓滿に進行中なれども未だ調印を見るに至らず該協約の内容に就て探聞する處によれば至つて簡單なるものにして世間傳ふる日韓問題に關しては何等明文には記載せられず先年締結せる日露協約不備の點又は滿洲に於ける相互の勢力範圍を一層明確に限定したるに過ぎず而して從來時として列國に誤認せられたる通商貿易利益均等に就て日露協約に互に限定せる範圍に於て門戸開放機會均等主義を一層明瞭にし以て列國の誤認を去らしむるこそ今般協約の首要とする所なりと(十八日)

▲金融益々緩漫　金融は益々緩和し金利は低落を告げ一層の營業難を示しつゝあり(同上)

▲拓殖局と官制　十七日樞密院を通過したる拓殖局官制は上奏裁可を經て一兩日中發表さる

▲拓殖官制内容　拓殖局は殖民地行政統一の趣旨を以て新設せるもので其の内容は未だ秘密に附せられ居るが確聞する處によれば官制は全文三十餘條より成り内閣に隷屬し總裁副總裁各一名部長二名書記官若干名なり而して總裁は親任副總裁及び部長は勅任とす(同上)

▲正副總裁候補　新設拓殖局の總裁は桂首相副總裁は後藤遞相の何れも兼任と内定し居る由(同上)

▲各省官制改正　拓殖局新設の結果臺灣總督府關東都督府樺太廳内務外務省官制一部改正さる可し

▲宇佐美參與官　新任宇佐美參與官は内部次官に任命せらるべし木内氏は依然の通り農商工部次官たるべしと(同上)

▲滿鐵株主總會　南滿鐵道會社にては今十八日株主總會を開き第七回決算報告を爲し原案の通り可決せり而して政府持株に對する配當金は三百八十萬圓にして二百五十萬圓は今年中に配當し殘額は明年支拂ふ事に決定せり(同上)

▲韓國治外法權　新統監は遠からず韓國統治に一生面を開くも韓國と列國との關係は當分之れを維持する方針にて諸列國條約は韓國の治績が列國に於て最早や治外法權を同國に維持する必要を認めず畢竟するに時期を待つて其改正行はるゝと同時に我が國條約を根本として之を行ふも幷は遠き將來に屬すべし

▲明石司令官出發　參謀長會議にて上京中憲兵司令官に轉任せし明石少將は十七日東京出發歸任の途に就けり(同上)

▲米國務卿言明　米國務卿ノックス氏は万國の仲裁々判所設置に對して列國は既に賛成の意を表したるを以て仲裁々判所の設立は既に確定せるものなり又米國の對清政策は清國の權利及び領土に於ける清國政府の主權を承認し之れを尊重するを以て得策なりとする旨を言明せり(十八日)

一進會と地方稅

一進會にては市場徵收に關して左の件の調査方を咸興支部に向つて命令したるが其の筋の調査も同一なりと、地方稅は國家費用の重大なるものにして衛生教育其他諸般の公共事業の經費を補充するものなり然るに現今遠近の地に之れが怨聲を聞く覺畢各部の稅率同一ならざる爲め愚民の誤解此に至りしにあらざる乎地方民心の内容を調査する爲め通牒す
(イ)各郡の地方稅則に據らず命令をして濫徵の弊害無きや否や
(ロ)濫りに徵收するもの有無と各財務署の日韓官吏中濫徵者の有無及び姓名舊慣に依り徵收する面長、里長領收員の氏名地方に依り支會の設無き地方は附近に居住の一進會員をして精密且秘密に調査せしむると
(三)右に對して六月八日咸興一進會支部の發したる回答左の如し
當郡に於ては濫徵と認むる點無きも市場稅徵收者は稅金を徵收し受領證を交附し居らず勝手に割當て物價の約百分の一を徵收す開店し居るものは一間以上二間まで三十錢三間以上五十錢を徵收す云々

統監着任と勅使

遠からず來韓する新統監の入城に就ては韓國上下一般に千秋の想を畫きて鶴首其到着を待つこと掩ひ難き事實にて從來の統監就任に比し興味更に多き事なるが韓國宮廷に於ても新統監の着任は愈日韓百年の大計を明確に樹立し益福利を增進せらるべきものとして特に敬意を表せらるゝやにて從來統監着韓の際は勅使として侍從院卿若くは武官長を上陸地に派せらる例なるも今回は特に皇族を特派し誠實丁重なる令旨を傳達せしめらるゝ噂ありといへり

●私學校と邦人教師　韓國に於ける私立學校の現在數は無慮千五百餘校の多きを算するが是等學校の經營者は時勢の必要と官公立學校の聯絡關係上日語教習科を設け教師として日本人を傭聘せるもの尠からざるが如し然るに其日本人教師の多くは韓國内地を行商して韓語の操縱に巧みなるより自然彼等經營者と相知り合ひ茲に傭聘せられたるものにして固より何等の學識素養なき輩のみなれば學部は其弊害甚だしかるべきを虞れ曩に一般私立學校に訓達して自今日本人を傭聘する場合は所屬道衙に出願して其人撰は詳細其身元操行等を查察して屆出で認可を求むべく嚴命せり斯くて浮浪教員の濫用を戒飾せるが其後各道に於ては該訓達を勵行して調査の結果を續々學部に報告し來れり而して今日迄の調査報告によれば教師現在數實に二百餘名の多きを算せりと云ふ

●地方稅徵收の順調　本年の地方費稅總額は七十七万圓にして内約四十萬圓は附加稅なるが其徵收期は本附加共同時なるを以て徵收上手數を省くのみならず成績頗る良好にして殆ど缺損を見ず同本稅中市場稅は總額約二十五六萬圓に上り全稅額の三分一に相當せるが曩に順川方面爭擾の爲め一時は前途を悲觀されしも今や全く順境に歸し他稅同樣成績益良好なり就ては一時反抗若しくは滯納に基因せる缺損も今や追々回收に就き遠からず豫定額に達すべき見込なり其屠獸稅の如きも各道其慣例に從ひ區々一定せざるも先づ牛一頭平均約一圓二三十錢豚は同二十錢なるが他屠獸には一切課稅せず其他渡船、浦港或は常設店舗に對しては相當課稅の餘裕を有すとの各道報告鮮からざるも內部當局に於ては一切是を採用せず姑くは專念民力休養に傾注さるゝ意向なりと

●國債報償會の總會　昨十七日午後二時興士團内國債報償金總會所事務所に於吉澤玄隱南宮億等の各關係者相集り梁起鐸を招きて實際の償金額及其使途を取調べたるに梁は該金は故ベッセルの取扱ひしものにして自分は何等與り知らずと逃げ容易に實を吐かず已むを得ず不得要領に了はれるが二十日總會を開きて善後處分を協議する筈なり

●義州私立學校淘汰　義州府尹徐相勉は日本觀光の結果吾が小學校の秩序整然たるを深く感ずる處あり歸來各私立學校經營者を慫慂して廢校せしめ其生徒等は官立普通學校へ入學を計ひつゝあり殊に此頃は儒生輩の設立せる三個の求是學校を廢合せしめたるが孰れも其處置に服し何等の故障なく實行し得たりと云ふ

政治小言

▲寺内新統監不日來らんとす、世人子に向つて何事を期待するか。
▲道路相傳ふ寺内子は合併論者なり子の統監となれる素論を實行せんが爲なり、故に子の足一度半島に入らんか合併立所に成らんと。
▲合併や今は大勢なり、寺内子にして此大勢を看取す、世人の期待を空ふするが如き事萬々あるべからず。
▲只夫れ茲に考ふべきことは合併の形式なり、時機なり、寺内子幸に之れ等に關するの調査を了したるや否。
▲邦人にとりてこそ合併は未曾有の珍事なり、而かれど世界に於ては合併の如き平々凡々の出來事なり、佛のマダカスカルを併せる、白耳義のコンゴーを併せる、墺のボスニヤヘレスゴビナを併せる、實に最近の事に屬す、若夫れ露國の芬蘭を併有せんとする其實現の期や蓋し近きにあらん
▲若しも寺内子にして我邦人の幼稚なるが如く幼稚にして功を急ぐの餘り形式と時機とを誤らんか幼稚なる邦人の思惑は兎もあれ我の不用意に就いて世界の嘲笑を招かん。
▲記者は斷じて言はん合併は難事に非ず、亦珍事に非ず、故に之を斷行したりとて左程の功名の寺内子に歸すべきものにも非ず、要は寺内子が此平凡事を解決するに當て苟くも失敗の跡を貽さゞらんにあり。
▲滔々たる邦人今や新統監の手際拜見に專念す、新統監たる者左顧右眄の態度を持せざれば可なり。

●土地證明規則調查　内部は土地證明事務引繼後該規則の實地の狀態に相適合せざる點多きを認め調査中なるが更に各道の意見をも徵し居れり而して土地調査施行の結果は一層事務の活動を要すべきを以て彼是相關して權利確定上些の遺憾なきを庶幾すべく近く該法改正を行ふべしと云ふ

●警察協會役員決定　過日發會式を擧げたる警察協會の役員は左の如く決定したり
委員常幹事　警務課長　警視　中野有光
同　警視　中谷隆志
委員　保安課長　警視　亥角仲藏
同　警視　齋藤禮三
同　書記官　趙羲九
同　警視副監　具然壽
同　警視　青木戒三
各道支部長　各道警察部長

●七月四日の獨立祭　來る七月四日當地米國總領事館に於ては例年の如く日中に於ては獨立祭公式祝賀を受け夜間に於て總領事館構内に盛大なる園遊會を開催し市内官民の重なる人々を招待する由なり

●政友會總裁の活動　政友會總裁金宗漢は黨勢を利用して大に活動を試みんと潛かに服心の股肱を集め凝議を悉くし居るが十八日午後七時より京城樓に役員全部を招き宴飲に籍りて實行方法を協議せし筈なり

●松井總監事務取扱　警視總監事務取扱を命ぜられたる松井警務局長は十八日午前警視廳に各課長及各署長を集め新任披露を爲し一層職務に勵精すべく訓示せり

●露國の戰死者調查　東京露國正敎會主教僧正ボール氏及び元山駐在代辨領事ビルコフ氏は韓國に於て戰死したる露國人數調查の爲め本月二十日出發北韓地方を旅行する由

●土地調查法の適否　今回施行の土地調査と共に種々複雜なる問題起るべく是に就き内部は各道郡に命じ目下の調査法の適否或は改良すべきや等に關し調査を爲さしめ居れり

●宮相勅使一行歸京　李總理慰問の勅命を帶び溫陽へ出張せる李喬永及閔宮相尹侍從院卿金秘書官等は十七日夜歸京せり

●東煙大和の發賣　東亞煙草株式會社韓國工場にては既に朝日の製造に成功し過日來更に大和の試製中なりしが品質頗る佳良にして寧ろ官煙を凌駕するの成功を收め此頃發賣せしに非常の好人氣を以て迎へられつゝありと云ふ

●法學士會の開催　在京城法學士會は水野內務省參事官の入京を機として臨時會を開きて同氏を招待すべしと云ふ

●仁川出入の船舶　仁川港に於ける十七日の入港船は兵庫丸一隻にして上陸客は男五名其他出港船共になし

●福島機關中尉訃　過日仁川に入港したる八雲乘組員機關中尉福島熊雄氏は病氣の爲め仁川病院に入院中なりしが昨十七日夜遂に逝去せりと尚は同中尉の夫人は二歲の令息と共に見舞の爲め十六日仁川に着したり因に石井少將は弔問の爲め下仁せり

●黒岩技監令姉訃　黒岩技監令姉おつ子刀自は腸窒扶斯にて十八日朝大韓醫院に於て逝去されしが今十九日午後二時自宅に於て神葬を營む筈なりと

統監と耶蘇教

寺内統監赴任後の統監政治が如何に面目を一新すべきかは世人の注意を拂ひつゝある所なるが聞く所によれば新統監は愈々合邦を實行して日韓百年の長計を立つるには先づ國民信仰の根本的問題に重きを置くの必要ありとし從來の統監府が寧ろ之を閑却するの嫌ありたる布教問題に就て先頭より專門家の意見をも徵し殊に韓國に二百萬の信徒を有せんとする米國宣教師等を過する方法に於て万遺憾なきを期し相待て韓國開發誘導の途を講ぜんとの方針を執りつゝあり此方針にして實行せらるゝに於ては多數韓人の統監政治に對する誤解を排するに極めて有效なるべく是迄韓國内に基督教徒團なる一新敵國を造りつゝあるが如き結果に陷りたるは畢竟韓人の現狀に對する我同情の足らざるに由るものにしてさなきだに統監政治を面白からず思惟せる韓人の相率ゐて米國宣教師等の許に走るは實に事理の當然なりとし山縣公、桂首相等も大に此問題に注目し新統監政治の一要項に加ふるに至りたるなりといふ要するに過去に於ても現在に於ても又將來に於ても統監政治上等閑に附すべからざる一問題は日本の殖民政策と有力なる米國宣教師團の韓人を基督教徒化せんとする運動とを如何にして調和し得べきかといふにあれば新統監の態度は久しく聞かるべくして聞かれざりし時局の要求に觸れたるものなるべし尙新統監は一方に米國宣教師團をして一層布教の便を得せしむると同時に他方には内地より有力なる宗教家を渡韓せしめて傳道に力めしむる由なれば半島の宗教界は頓に活氣を添ふに至るべしといふ(大每所載)

副統監來任期

其筋に達したる公報に據れば山縣副統監は來る二十二三日頃東京出發赴任せらるゝ豫定なりと云ふ

●仁川居留民會摸樣　仁川居留民會は豫定の如く一昨十七日午後九時より開會せしが出席者は竹田、市川、八田、伊東、青木、平山、津、の六議員にして青木氏議長代理として議事に入る先づ仁川病院分院土地及建物處分に關する件は花町相生町間開鑿道路敷地として現在分院敷地の内七十五坪を無償提供すると共に分院建物を他所に移轉する補償として金二千四百九十一圓五十錢を其筋より受領せんとするものなるが是は滿場異議なく可決し次に花町二丁目より敷島町に通ずる道路及び山根町龍岡町の民團所有地内道路に給水用鐵管布設の件は無償にて使用を許可する事に原案の如く可決したり其より仁川病院經營變更の件及び仁川病院長外醫員雇員等に特別慰勞金として九百八十三圓を給與の件並びに仁川病院個人經營者なる長尾乙二に年額金二千四百圓を補助するの件は共通問題なるが何分出席者少數の爲め一般議員の意嚮を確むるの必要ありとて次回の議事に廻はし散會せしは午後十時半

●麥收穫と稲苗植付　韓全國に於ける米の收穫は普通八百萬石にして麥は四百万石なるが本年度は旱魃の爲め麥の成熟甚だ惡しく過日の降雨二週間早かりせば非常の好成績を呈すべかりし由なるが或る場所に於ては四割減の豫想なりしに降雨の爲め一割半減に恢復したる處もある由而して本年度の收穫は目下刈入れの期なれば之れを知ること能はざれども一割以内の減收と見ば大差無き由稻の植付は過日の降雨にて充分なりと云ふこと能はざれども樂觀するも不可なしと云ふ

●頭本元貞氏茶話會　頭本元貞氏及夫人は愈十九日を以て當地を引拂渡米することゝなりたるを以て十七日ソンタクホテルに留別茶話會を催したり當日の參會者は當地内外の紳士貴婦人にて其數二百餘名何れも主人夫妻の前途の幸福を祈り歡談に時を移し散會したるは午後六時なりき

●在韓小學校長總會　在韓日本人教育會は來る七月二十三日より三日間小學校長大會を開く筈にて同會幹事橫山南大門小學校長は此程各道所在の小學校長に通知し併せて問題の提出方を促がせりと云ふ

●水野參事官招待會　近々入京の水野內務省參事官に對し內部大臣朴齊純氏は鄭重なる招宴を催す由又警察協會も招待の準備中なり

●八東代議士の出發　入京中なりし代議士八東可海氏は去る十七日釜山へ向け出發したり

●吉原副總裁の歸京　十八日吉原東拓副總裁等西韓より歸京

●藥師川副官出張　藥師川憲兵副官は十八日午後仁川に赴き夫より群山を經釜山浦地方視察一週間にて歸任の筈

●江副辯護士出發　入京中なりし江副靖臣氏は十七日出發釜山に向ひたり

●蔘政局長歸任期　目下南滿地方蔘業視察中の上林蔘政局長は本月末歸任

●最上主計正出張　十七日夜軍司令部最上二等主計正釜山へ出張したり

●小鹿島鎮氏入京　開城殷銀支配人の同氏は十七日入京山本旅館に投宿す

●鹿野所長の歸任　入京中の海州地方裁判所長の同氏は十七日出發歸任す

滿洲の新工業

南滿洲鐵道會社が毎月消費する玻璃器(窓硝子を除く)のみにても約二千圓を算す若し滿韓一帶並に北清中清に亘る硝子の需要額を加算せば侮るべからざる巨額を示すに拘らず硝子業が特種の熟練を要する爲め未だ滿洲に製硝工場の勃興を見ざりしに中村滿鐵總裁等は東京高工學校窯業課教授平野耕輔氏に囑託して昨年末以來大連附近の原料砂石に關し精査の末愈年產額三十六萬圓内外の規模を以て大連に硝子工場を起し板硝子以外の玻璃器を製作して滿洲地方に販路を開く傍滿鐵自身の需要を敏速に充すの途を講ずる筈なりと

▲治外法權▼

寺内山縣と相前後して近々來任すれば過去一個年空位であつた統監府が一時に旦那と內儀とを有することになる、ソコラの番頭や小僧どんは主人主婦の乘込に先立ち居摺まいを直すが良い▲一個年と云へば短い樣だが曾禰の往生を待つて居た者の爲には隨分永かつた樣だ、サア貧乏神が逃出して比較的福の神らしき入道や二十五貫目が乘込んだら景氣が少しはなをらう▲統監寺内は米人宣教師を無視せぬ方針だソウだがソレは素より當然の事だ、故伊藤公さへ宣教師問題には隨分配慮せられたものだ、過去一個年間統監府と宣教師間に意志の疏通を缺いて居たのは全く曾禰の無頓着と無方針の結果だ▲一時外債を起さんと企てた釜山民團は其後運動の方針を換へて內資低利借換と出掛けた、聞くところに因れば此頃になつてドウやら目的を達したらしい、義山、石原の得意思ふべしだ▲米國太平洋沿岸の或市の材木屋に雇はれて居た邦人勞働者三十名は白人勞働者の爲に脅迫的に同市を立退かされた、多分原因は曾て鹿兒島縣に入れた清人勞働者を放逐したのと同じダロウ▲同業大阪新報は内地新聞の韓國記事取締に就いて堂々と論じて居る、當局者にして該論文を見落さいれは幸甚▲ソンタクホテルに於ける頭本夫妻の留別茶話會は中々盛んであつた、主人が主人であるだけ客も國際的であつた、アツト、ホームの譯だから御馳走は茶菓のみであつた、夫れでも頭本夫人氣を利かして左黨へは內證でビールを出した、內助の功を稱讃して居たものがあつた▲酒、煙草、市場の三稅廢止を建白した一進會は出來ない相談で新統監にケチを附ける積りか、さりとは狡智屋にも程がある、納稅がいやなら國民權を捨てるが良い

市衛生の不統一

▽漢城二十餘萬衆の聲
▽當局者の反省を促す

先頃までは日韓人の汚穢掃除、家宅地內掃除の執行、溝渠の浚渫命令等も各別にされ居たるが漸く此の頃に至り汚穢掃除だけは合同搬出に革められたるも家宅地內掃除、溝渠の浚渫命令等は未だ統一せられない、日韓——一家たる日韓人間の夫れさへ未だ統一せられない、僅かに京城**市政の一部**たる衛生事務の統一さへ爲ないイヤ出來ない、公渠と私渠との區別も判つて居らぬ、**公渠**の浚渫をも私人に强うる、衛生費は徵收して置きながら更らに**夫役の方法**を執る、夫れも滿足に行けば或は仕方がないと諦めもするし又行つた跡でアー淸爽したとの樂も生ずるが、公渠の**浚渫**を私人に强うるのであるから流石に**官權萬能**の先生達も住宅の範圍外を强うる理由には參らぬと見へて空家若しくは**空地**の所は依然として**依然**たりである、元來初めから立派に作造て市民に渡された溝渠ではないのだから稅金を取る代りには修繕や浚渫や改造やは市當局で行つても罰は當らん筈だ、居留民根性の脫けざる民團の事務員なぞは本町附近以外の住民を頭の邊に置いて居らぬ、稅金を促るのみで便宜を與へる設備はせぬ、衛生の方面に於て特に然りだ、浚ひ上げた**泥の運搬は閑却**される、雨が降る流れ込む元の杢阿彌だ、其所で又夫役方法を**繰返**される**繰返**す方で能く疲勞ぬ事だ、**其方樣**は**御職業**であるから諦めも附かうが此方樣は堪らぬ、溝渠の浚渫を强うる際には切めては汚泥運搬の準備位はあつて然るべきだ、或は當局者は御存と無いか知らぬが市中には幾多の**淸國人**が介在して居る、此の方の衛生事項は巡補廳にて掌つてるが不完全極まるものである、のみならず彼等の**二階**に寓居するものは二階に**便所**を有して居る**汚物**は亞鉛樋を通じて公渠に**流失**し去る構造にして居る一度でも支那料理店に登つた人は知つてる筈だ、個人衛生の重んずべきは勿論だが公衆衛生機關の不備不統一今日の如くんば市民を駆りて危險と迷惑とを感ぜしむることは非常である、**黴菌**は內外國人**共通**である、日韓人の製造せる黴菌が淸人を侵すが如く淸人の夫れが日韓人を害することは生理機能の相違に依りて更らに**猛烈**であることも知つて貰いたい、山根衛生顧問君願說よりは實行に重きを置く樣にされたい。

再び油斷ならぬ水道に就て

▽專用栓より絲の如き虫

本社据置水道用水槽に蛭を發見したる顛末は十八日の紙上に發表し各方面の注意を惹起したる然るに記者は彼れ以上の事實を有せざりしを以て水道より出でたりと斷言するを躊躇したるは讀者の諒知せらるゝ所なるを信ずる。然るに長谷川町一丁目の**渡邊章氏**は十七日午後六時頃**自家專用栓**より絲の如き**細長き虫**の吐出されたるを以て不審に堪ず十八日早朝大韓水道**會社に訪問**して此れを示し說明を求めたに水栓**附近に發生**したるもの丶夜間栓口に**潜入**したるものなるべしとのみ答へ毫も意に介せざるが如きに憤慨して本社を訪ふて以上の事實を語り更らに**理事廳**を訪問したる筈なり、吾人市民は此の際原因を探究するに先き立ちて昨紙所載の如き應急**自衛**の方法を執らんことを**勸告す**ると同時に經營當事者の親切なる所置調査を切望し茲に再び其省慮を促す

暴徒全村を燒く

▽燒殘り一戶損害二萬圓

江原道平康郡縣內面李木里に去る十四日午後〇時四十分十四名の賊徒來襲し金顯明方に放火し銃を亂射せしかば村民は恐怖し我先きにと逃走したる虛に乘じて全村に放火し掠奪の出來得る限り手當次第に持出し凡そ二時間の後何處ともなく立去りしが全村二十四戶の中殘りしは只一戶のみ馬一頭牛三頭豚二十頭鷄百五十羽は燒死し全損害二萬圓に餘り村民の悲嘆譬へ難く未だ火も消やらぬ灰燼の村に彷彿ひつゝあり

四十五圓酌婦の足拔

▽情夫は十八圓の月給取

岐阜縣平民遠山すぎ(二三)は昨年十二月前借金四十五圓にて永樂町一丁目三十四番戶料理屋成瀨よう方に酌婦に抱へられ誰れ彼れの差別なく淫賣に出精中或は水道會社の職工菅戶新三郞(二六)なる者すぎを名指して登樓せしが緣にて双方相惚れの間となり遂に夫婦約束迄せしが菅戶は一箇月七十圓取りの職工監督なりと自稱したりさかにてすぎは七十圓の月給取りの奥さんになれると朋達にも吹聽し居たるが如何にしけん本月十八日午後一時頃より無斷家出し歸らず抱主は各所を搜査せしも不明なるより四十五圓と云ふ大金踏倒されてたまるものかと早速本町分遣所に搜査願提出せしより探偵中の所本町七丁目の或る溫突に菅戶と夫婦氣取り丸髷姿の奥さんになり濟して喜んで居る處を十七日午後八時頃引つ捉へ有無を言せず分遣所に同行抱主に引渡したりとか然るにすぎは菅戶に對ひ早く四十五圓調達して下さいなと淚乍らに賴みしとか十八圓の腰辨なればマア當分六ケ敷からんとは氣の毒千萬

女振り

若林總監夫人　若林つね子

今度奈良縣知事に轉じたる若林賚藏君は丸山總監の後を襲ふて島根縣知事より韓國警視總監に轉任し來られたのであることは讀者の知了せらるゝ所である、明治二十五年帝國法科大學政治科を卒業せられた法學士で內務省に奉職諸官に歷任して山形縣事務官に任ぜられ次で前々官の島根縣知事に榮轉せられたのである、慶應元年も押し詰つた十二月新潟縣岩船郡村上本村の豪家に生れた、恒子夫人の產地は鹿兒島で明治九年八月の出生丙子の七赤本年は三十五歲になられる、若林家に嫁かれたのは二十八年日淸講和の後間もなくであつたと聞く、お子供衆は二人あつて長男は橫濱の御親戚に托せられて神奈川の中學校に通學中だ、次は孃さんでさだ子さんと仰云る、三十一年十月の御出生で南大門の小學校に通學して五年生であるゝ、お母さんに似て、至極穩かなお孃さんである、凡そ他人を訪問して心持の惡いものは玄關番の橫柄と夫人の眉根の曇りを認めた時だ、然らばと云つて要件の果てない間は何がなんでも歸ることは出來ず、不快は變じて反抗心を挑發さるゝ、故に夫人の眉根は益々通る、都合に依れば其の所夫を引つ張り出して藝妓でも當てがつて焦れさせて試ようかと迄思ふものである、然るに恒子夫人はこれに反して特に來客を喜ばれる決して人に依りて別け隔てなぞはなさらぬ誰れでも歡迎せられる若林君の友人部下は勿論普通一般の訪問客に對しても應接振りが一切誠心誠意である。

●花二三亭の痛事

大和町二丁目の飲食店花二三亭の主人は軒原はなる慾の深い中婆さんで此の頃の不景氣を酌婦の爲でもあるかの如く盛んに當り付けて居た十七日は夕暮れより大和町二丁目自稱請負業高柳茂一郞外一人登樓せしにぞ久し振りの客とて有頂天になり喜びサア出せ〳〵飮め食へ歌へで自分迄客席に出酒張りヤッチョロマカセなんか唄ひ騷いだ迄はよかりしが夜も十二時頃に至り九圓八十錢の計算となりお二人とも懷中無一文とあるに婆さん靑くなつて催促すれど持たぬ金は拂へぬから二三日待てと云ふて立歸りたるより筆洞分遣所に告訴せりと

●無錢飲食漢處刑

大坂市西區南區長堀當時吉野町根岸運送店內根岸市松(二七)が渡韓早々五月二十三日中の新地お多福に登樓二十五日迄流連し飲食代二十三圓を支拂へず其の夜同家を逃げ本町一丁目裏迦り君の江にて同手段にて飲食せし代四圓卅錢を支拂へず南部署に突き出されたる由は本月二日の紙上の入獄の爲め渡韓と題し報道せしが爾來京城地方裁判所に於て審理中の所十七日懲役三年に處せらる

●縊死者死體發掘

仁川病院分院に於て去る十日縊死を遂げたる和歌山生れの小池德史(三〇)の遺骸引取りの爲め其親族に當る奈良縣吉野郡下市町岡本輝次同上田利吉の兩名は一昨日仁川に來り仁川署員の立會を求め共同墓地に至りて死體を發掘したるが全身既に腐敗し臭氣鼻を打ちて手の附け樣なきにぞ其儘現場に埋沒し遺族は遺髮を携へて泣の淚に袖を絞りつゝ歸國したり

●暴民首魁の上告

平安南道順川郡に於ける暴徒の首魁崔南俊(三〇)以下の暴徒は平壤地方裁判所に於て判決言渡され控訴中棄却せられ崔は不服を申立て高等法院に上告申立たりと

小常陸と伊勢の濱

▽兩關共本物の江戶兒

小常陸由太郞の本番附面は小結である、生れは東京の四谷で江戶兒のチャキ〳〵本年二十五歲で常陸山の秘藏弟子である、相撲になつたのは十五の秋であつた、體量は三十三貫もあるが身長僅かに五尺二寸力士としては小粒の方で到底幕內中軸以上に昇る見込はないと云はれて居たが本人非常の稽古熱心なるが上嚴格なる常陸の訓陶を受けた爲め場所毎に昇進し四十一年五月入幕して本年五月場所に小結の榮位に昇進したのである得手は押切り鐵砲等であるが體が丸い丈けに橫に弱いそれに江戶兒に似合はず立方がマヅかつたが三役になつてから改まつたであらふ、また相撲に若い處はあるが、力一はいに取るから負けても勝つてもキビ〳〵して居る、此間の場所には三日の內國見と太刀とに破れ遂に太刀に突かれた際足を挫いて休場し爲めに三日働いて一つの負星を殘したから可愛相に一月場所は四五枚番附面が陷落するであらふ、併し前途はまだ〳〵遼遠だ落膽することはあるまい。

▲伊勢の濱慶太郞は正に西方の關脇である、生れは東京本所相撲の本場で而かも先代伊勢の濱荻右衛門の實子である本年二十八歲で幼少の頃は力士の家に生れながら力士を嫌ひ商家へ奉公を爲て居たが、彼れが時々非凡な力量を現はすので人々が無理に勸めて角力にしたといふ事で初土俵は三十五年五月僅かに四年目即ち三十九年五月入幕し昨年五月小結に昇進し去る五月鳳を蹴落して關脇に昇進したのである伊勢の濱は現相撲協會理事根岸治右衛門と從兄弟で根岸の妹が伊勢の妻となつて居る、故に彼れは目下根岸の宅に同居して居るのである、彼れは幕の內になるまで僅かに五番負けた事があるばかりで非常な進步であつたが、幕に入つてから大酒の爲め一時脫走したが根岸から意見されて飄然として悟り今頃は酒を一切禁じ小說を讀んだり、歌留多を取つたり或は草花盆栽等をイジッて居る、彼れの得手は左四つの吊り出し、上手投等であるが腰の能い事は無類で堅實な取口である、併し去る五月場所は持病の痔疾の爲め元氣聊か衰へ五分の成蹟であるが、下に居る玉椿や鳳が成蹟良好の爲め或は前頭筆頭位に落ちるかも知れん併し實力は三役として充分備はつて居る、彼れは本場所打ち揚後直ちに入院したから今回の巡業には或は加はる事が出來ぬかも知れんと記者は暗に心配して居るのである

講談豫告

久しく愛讀を賜はりし講談「日本銘刀傳」は愈々本日を以て大團圓を告げたれば之れと差替へ、彼の名奉行大岡越前守が心血を注いで判きたる當の主人公「**越後傳吉**」の傳を掲載することゝせり、演者は東都知名の講談家**旭堂南凌**にして之れに精巧なる**挿畫**を加へたれば、蓋し近來の好讀物たらん、讀者之を明日以後の紙上に俟て。

編輯局

日曜集會

●日本基督教會　旭町四丁目日本基督教會にては十九日午前九時より日曜學校同十時より禮拜說教「禮拜の心得」石原牧師午後八時より傳道會あり
「唱歌指導者」　ゴルボルト君
「證人となれ」　外村義郎君

●京城基督教會　日の出町の同教會にては十九日午前九時より日曜學校同十時より禮拜說教あり午後八時よりは傳道說教ありと云ふ其の演題は如左
朝「イエスの祈」　米澤牧師
夕「傳道說教」　太田七兵衛君
同　上　北原利男君
因に二十一日附屬婦人會例會開催の筈

●メソヂスト教會　旭町二丁目同教會にては十九日午前九時日曜學校同十時禮拜說教午後八時傳道說教ありと
朝「請事を爲し得る方」夕「疑らざる福音」　木原牧師

●龍山基督教會　龍山老松町の同教會にては二十日午後八時より世界傳道師外村義郎、ゴルボルト兩氏の「予が信仰の實驗」なる題下にて有益なる說教ある由にて一般の傍聽を歡迎すと

目と耳

▲壽座　同座大阪文樂式操り人形一座十九日の藝題番組左の如し　繪本太功記大序光秀饗應扇場(三好太夫、糸廣一)本能寺春水竹打(口筑佐太夫、切筑佐太夫、糸廣一)久吉陣屋の段(口三好太夫、切筑登太夫、糸文吾、筑佐太夫、廣一)尼ケ崎場又助住家の段(岡八、切露尾、糸文吾、眞駒)おはん長衛門帶屋の段(筑登太夫、糸文吾)千兩幟猪名川(總掛合、糸文吾、外相撲場三味線曲引)

▲京城座　十九日の代り藝題は「女兒雷也」全十場にして重なる役割如左　相馬のおてる(堀江)寺井妻さき(桂木)太田周吉(川さき)蛇の目金太(高島)吉井進哉(浮田)壯士竹田一郞(松村)下僕吉平(美崎)娘おきく(平井)高木庄平(瀨川)弟義一(村上)番頭與七(松葉)丁稚吉松(高岡)刑事井川(島村)巡査田原(木村)

今日の運勢

六月十九日　舊四月十二日　七赤　佛滅　乙卯　納△一白　當事小事は可大事新事は不可建築農業旅行吉△二黒　懇願要求に遭ふあり家庭內に些少の煩累あり△三碧　不事の日諸事控へ目の事貸借質買談職尤も注意の事△四綠　概して厄運日なり新事見合せの事盗害遺失防ぐべし△五黄　貸借保證其他情義に驅られて損失あり△六白　轉移旅行分業轉業に吉家事上煩累あり△七赤　新事見合せの事賣買談合訂約交涉運望の事利有らず△八白　出損損害多き日とす其他吉△九紫　新事及變更の事凶婚姻養子貸借示談依賴効無し

六月廿日　舊五月十三日　八白　大安　丙辰　△一白　諸事控へ目の事旅行金談貸借効なし△二黒　平凡の日大抵差障なし運盟婚姻結社に好し△三碧　些少の難駭若くは煩悶ある日なり爭論負傷防ぐべし新事見合せの事△四綠　新事見合せの事諸事沒要領に了らんとす農事林業に吉△五黄　共同組合探險行商修交旅行に吉誘引の事之を避くべし△六白　利得ある日なり轉住兒童雇入の事見合せたるべし△七赤　婚姻養子質買貸借締約等調和の日なり色情痴情に破れを戒しむ△八白　新事見合せの事保證引受の煩と遺失の難を避くべし△九紫　業務上快事利得ある日なり旅行談判訴訟に忌む(本町五丁目三一館判斷)

廣告

公告
第二十五號
一金貳拾圓也　當民團行路病者收容費へ
右ハ大和町一丁目吉川米次郞殿ヨリ亡令夫人ノ遺志ニ依リ葬儀費ヲ節約シ寄附相成候條此段公告ス
明治四十三年六月十七日
京城居留民團民長　古城管堂